事業所名	スマイルオン	支援プログラム	作成日	7 年	2 月	18 日

法人（事業所）理念	子どもの可能性を信じ、子育てをあたたかく見守る。										
支援方針	日常生活において必要なことを、本人のペースで身につけていけるように寄り添い、可能な限りの自立を支援する。										
営業時間	平日	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり　なし
	学校休業日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで		

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	健康状態を維持・改善し、基本的生活スキルの習得を促す。 ・健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。（手洗い・検温・気分把握等） ・基本的な生活のリズムを身につけられるよう支援する。 ・日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的・精神的・社会的訓練を行う（はさみ、のりなどの使い方等） ・生活に必要な基本的技術を獲得できるよう支援する。（身の回りの清潔・食事衣服の着脱・排泄等） ・様々な遊びを通して、学習できるよう環境を整える。 ・生命について考える取り組みをする。（イチゴを育てる、カブトムシの飼育等）
	運動・感覚	姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上を促す。 ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上のための支援を行う。 ・体操療育・・・毎週水曜日 ・リトミック療育・・・木曜日（第２週、第４週）
	認知・行動	個々の特性を理解し、適切に対応し個々に応じた療育を行う。 ・ビジョントレーニングにより、認識機能を養う→①注意力　②言語理解　③知覚　④推理・判断力 ・レゴブロック遊びを通して空間認知機能の形成を養う。 ・個々にスケジュールを用意し、降所前に一日の”振り返り”をして、次回へ繋げる。
	言語 コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を促す。 ・１/月：言語聴覚士による療育（療育が必要な利用者のみ） ・挨拶をする。（「帰りました」「さようなら」「はい」「ありがとうございます」等） ・自分の気持ちを言葉で伝えることが出来るように支援する。 ・発達の特性や段階によりコミュニケーション手段の仕方を知らせる。（指さし、身振り、サイン、絵で示す等の方法）
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成を促すとともに、社会性や対人関係の芽生えを促していく。（大きな声で挨拶をする・意思表示をする） ・身近な人との信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ・自分の行動の特性を理解するとともに、気持ちや感情の調整ができるように支援する。

家族支援	・子供の発達状況や特性に向けた相談支援 ・子育てに関する困りごとに対する相談支援	移行支援	・入学、進学等のライフステージに合わせて、将来的な移行を見据えての支援を行う。
地域支援・地域連携	・学校や障害福祉サービス等事業所と連携していく。 ・地域の行事等へ参加し、経験や視野を広げていく。	職員の質の向上	・虐待防止委員気合での事例検討等、虐待望研修への参加、言語聴覚士による研修（1/月）、備前市・赤磐市・和気町合同療育研修会 赤磐市自立支援協議会、感染対策委員会
主な行事等	・季節に合わせた活動、社会見学、避難訓練、公共交通機関を使ってのおでかけ、備前焼き体験、絵画指導体験、物づくり体験、リトミックコンサート		